

SSKA 東 腎 協

2010年6月27日

No.182

NPO東腎協第5回総会議案集

講演 「足の血管のつまりの予防と対策」

講師：東京女子医科大学病院

代謝内科

新城

孝道

先生



特定非営利活動法人 東京都腎臓病協議会

事務局・☎170-0005 豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F

郵便振替口座 00150-0-128390 ☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail info@toujin.jp ホームページ <http://www.toujin.jp/index.php>

NPO法人東京腎臓病協議会第5回総会及び第1回大会のご案内

第4回総会で決定したとおり、NPO東腎協定款に遵守し、正会員のみで第5回総会を左記のとおり戸山サンライズ・大研修室において開催します。第1回大会は、すべての方が参加できます。但し、非会員の方は参加費として当日千円を受付にお支払い頂きます様、お願い致します。

記

日時 2010年6月27日(日) 午前9時40分開場 ※正会員のみ
次第 NPO法人東腎協第5回総会(午前10時00分から午前11時40分)

講演 講師 会場

第1回大会 午前11時50分開場(午後12時~午後16時)
 「足の血管のつまりの予防と対策」

東京女子医科大学病院 代謝内科 新城 孝道先生
 戸山サンライズ(全国身体障害者総合福祉センター)
 TEL 03(3204)3611 (代)

患者会正会員さんにはポスターを同封した返信ハガキで参加人数をお知らせください。

※参加者はこの議案集を必ずご持参下さい。

交通

●東京メトロ東西線・大手町駅 3b(または2) 出口を出てみずほ銀行の先の馬場下町交差点を左に曲がり早稲田大学文学部の敷地に沿って進み220Mほど進むとT字路になります。左折して坂道を登り220Mほど進み、最初の信号を左折し200Mほどで到着。(徒歩10分)

●大江戸線若松河田駅改札出て右に進み河田口の前が交差点ですので、そのまま220Mほど直進し、その先を右斜め方向に進み坂道を(下り)220Mほどで到着。

※坂道の右側には歩道がないので国立国際医療センター交差点側を歩く。(徒歩10分)

駐車場 利用できませんので、公共機関でおいでください。

☆ 戸山サンライズまでの交通案内 ☆



駐車場がございませんので予めご承知下さい。

NPO法人

東京腎臓病協議会

第5回総会式次第

開会あいさつ

定足数確認

・正会員参加人数確認

・総会の成立確認

会長あいさつ

議長選出

議事録署名人選出

審議事項 (下段参照)

・第一号議案～第三号議案

議長解任

閉会あいさつ

審議事項

第一号議案

平成21年度事業報告及び収

支報告

会計監査報告

質疑応答

第二号議案

平成22年度事業計画及び収

支予算(案)

第三号議案

役員選出・退任役員

その他報告すべき事項

第1回大会式次第

第1部

① 昼食 12:10～13:00

② 会長挨拶 13:00～

③ 黙祷

④ 来賓挨拶

⑤ 祝電、メッセージ等紹介

⑥ 基調報告

総会で決議された事業報告、

会計報告、

会計監査報告

平成22年度事業計画・

収支予算

質疑応答

休憩

講演(下段参照)

質疑応答

閉会挨拶

記念講演

「足の血管のつまりの予防と対策」

講師 東京女子医科大学病院

代謝内科

新城 孝道 先生

【経歴】

昭和48年 昭和大学医学部卒業

東京女子医科大学総合内科入局

昭和52年 糖尿病センター所属

昭和54年 イギリス Middlesex Hospitalへ短期留学

昭和55年 学位取得

昭和60年糖尿病 Foot Care 外来を日本で最初に開設

平成3年 講師に就任以後現在に到る

所属学会

内科学会、脈管学会、靴医学学会、腎臓病学会、動脈硬化学会、サーモグラフィ学会

その他

【著書】

「糖尿病のフットケア」、「糖尿病フットケアガイド」(医歯薬出版株式会社)

二〇〇九（平成21）年度事業報告

期間 2009年4月1日～2010年3月31日

毎年会員拡大を最重要項目に挙げておりますが、透析患者の高齢化に伴い会員の減少に歯止めがからず困難な状況は続いています。また、会員減少に伴い非常に厳しい予算となり事業の見直し、動きの無い委員会の整理を行いました。

は北部、東部、中南部ブロックの会員を中心に66名の参加がありました。「臓器提供意思表示カード」の配布は、上野と立川合わせて一万枚を道行く人たちに手渡ししました。

いて聖路加国際病院腎センターアシスタントナースマネージャーの中島 由賀先生をお迎えして講演していただきました。

③機関誌「東腎協」の発行

編集委員長 岸里 悟

編集委員会では、今期No178号の5月号からNo181号の1月号まで、定期発行しました。

特集1についてNo178では、

東京医科大学八王子医療センター・移植センターレシピエント移植コーディネーターの窪田基子さんに「誤解の多い腎移植」正しい情報を得ることが重要ですの題目で原稿を書いていただきました。

No179では、NPO東腎協第4回総会の報告を掲載しました。No180の特集では、河北総合病院透析センター長の篠田俊雄先生の「ドライウエイトの設定と血圧の管理」快適な透析生活を続けるためにを掲載しました。

No181の特集では、板橋中央総合病院腎不全外科の松野直徒先生の「透析患者さんの肝炎治療」についてを掲載しました。

今後も診療報酬の改定、透析関連記事を掲載して最新情報を提供して行く努力をしてより良い誌面作りに活かしていきたいと思います。

また、来期も賛助会員の募集に力を入れ賛助広告掲載をしていきたいと思います。

会報は会員の皆様の重要な情報源と位置付け、今伝えなければいけない情報を迅速且つ正確にお伝えしていく努力を重ねていきます。

④ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病に対する意識の啓発を図る

ホームページ委員長 糸 修

ホームページ委員会では、11月にホームページをリニューアルしました。

1. 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業

①「臓器移植キャンペーン」・臓器提供意思表示カードの配布

10月4日（日）第29回全国一斉臓器移植普及推進キャンペーンが今年度も実施しました。

今回は立川でも行われ、多摩ブロックの会員を中心に各患者会合わせて47名の参加がありました。また、同時開催の上野恩賜公園

②「腎臓病を考える都民の集い」を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見・早期治療を啓蒙する事業の名称である「腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業」の目的を遂行するため「第22回腎臓病を考える都民の集い」を3月28日に総評会館で開催しました。参加者は140名でした。

第一部の講演では、「CKDってなあに？」末期腎不全への進行阻止と快適透析ライフを求めて」について順天堂大学腎臓内科教授 富野 康日己先生をお迎えして講演していただきました。

第二部の講演では、「CKD（慢性腎臓病）とともに歩こう」につ

今回のリニューアルでは「生きた情報を迅速にみなさまに！」をモットーに東腎協からの情報をいち早くお届けするためにトップページに「イベント情報」と「東腎協からのお知らせ」の2つの情報発信欄を設けました。

また、人工透析、腹膜透析、移植をそれぞれにわかりやすくイラストを多用して解説したほか、全ページにわたってリニューアルし、機関誌とともに東腎協の広報の役割を担うホームページを作りました。

来期予定では「Q&A」や「機関誌バックナンバー」「患者会一覧」等の内容を充実するとともにリスティング広告などの活用により、東腎協活動を周知させるものになりたいと思います。

⑤ 広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する

この事業については主に各ブロック活動、交流会対象とした活動によって対応してきました。また、病院訪問、会員交流会を行い知識普及に努めました。

① 各ブロック活動

北部ブロック

ブロック長 石山 久美子

今期の活動は、会員拡大はもちろんですが、木下会長に同行していただき、正会員さんに次のことをお話させていただきました。

① 日頃のご協力に感謝し、透析患者の送迎問題、長期入院について話し合いをする。

② オープンされたクリニックに訪問する。

③ 患者会の総会や勉強会に参加して事務局長による透析医療費のしくみを聞いていただく。

また、9月13日(日)には、中南部と合同で学習交流会を開催し、河北葦クリニック透析センター長・篠田先生による「ドライウエイトの設定と血圧の管理」とインフルエンザの予防についての勉強会を行いました。

1月31日(日)には、北部ブロック正会員交流会を開催しました。参加者は正会員のみの少人数でしたが、みたかの森クリニック院長の菊池 太陽先生に、「体調とデータをしっかりと見る事、それが健康への早道です」をご講演いただき、木下会長からは、福祉の面で長期入院患者が入院可能な所が少

ない等の現状をお話いただきました。

今後の取り組みとしては、先に書きました②、③の継続をしていきたいと思っています。

中南部ブロック

ブロック長 押山 大作

中南部ブロックには透析施設は140以上ありますが、患者会はわずか21患者会と低迷しています。今年度は残念ながら、患者会の役員が高齢化して次代にバトンタッチ出来ない、あるいは、役員の引き受け手が無く解散した患者会も出てきました(昨年度比▲2)。

一方、個人会員は約130人と4ブロックの中で一番多くなっています。この個人会員の皆さんを核に患者会設立に向けた活動を進めることが課題です。しかし、患者会設立へのハードルは心理的にも高く、なかなか実現は難しい状況です。

【今年度の主な活動】
学習交流会を、平成21年9月13日(日)に東京都障害者福祉会館にて、篠田俊雄先生(河北葦クリニック透析センター長)、演題「知っておきたい「ドライウエイトの設定と血圧管理」」の内容で

実施しました。

約60名の会員が集まり、アンケート結果もとても好評でした。時節柄新型インフルエンザ対策もお話し頂きました。

【来年度の課題・予定等】

中南部ブロックは患者会組織率が低く、会員拡大の病院訪問は不可欠です。しかし、昨年度同様、病院を訪問する理事が一部に限られている(仕事や体調の問題)のが現状です。

新規病院訪問については、今後、正会員や個人会員の協力も得ながら進めます。

来年度活動予定は、「学習交流会」や「会員交流会」の他、「個人会員交流会」も実施したいと考えています。また、島しよの患者会との交流も出来るように進めて行く予定です。

会員拡大については、まず今年度は既存の患者会との連携をしっかりと取りながら、活動を進める予定です。ご協力を宜しくお願いいたします。

東部ブロック

ブロック長 石井 虎二

主に組織拡大と2回の患者会交流会がありますが、その前に現在

の東部ブロックの現状報告をします。

東部全体の透析施設は80、その内患者会のある施設は25あります。上半期の会員数1392名、下期には5名増えて1397名でした。東腎協の最大のテーマは組織拡大だと思います。

そんな状況の中、東部ブロックでは未組織施設55全施設を8人の理事、31人の正会員に協力をしていただき、理事を班長に3班に分かれて活動をしているところです。現在までに11の施設を訪問しましたが、現在のところ皆さんが医療制度に満足されているのか良い情報はありません。

第1回目の交流会は、平成21年7月12日(日)に本所防災館にて防災体験ツアーを開催しました。参加者は34名でした。

その後、東武レバントホテルで食事をしながらの交流会は52名でした。

第2回目の交流会は、平成22年1月31日(日)江戸川区のタワール船堀で行いました。第1部では新小岩クリニックス船堀の管理栄養士長谷川先生による「透析患者向けの食事について」の講演、第2部では、全腎協制作のDVD

鑑賞、その後、岸里理事から平成22年度診療報酬制度及び東腎協の歴史、会員拡大の重要性、質疑応答を経て、2回目の交流会も大盛況のうちに終わることができました。

多摩ブロック

ブロック長 木下 久吉

多摩ブロックは3グループに分割しており、平成21年、6月30日に第1グループ梅原理事、第2グループ糸理事、第3グループ山口理事がグループ長として、責任遂行者と決定しました。

第1グループは、4月5日、9月20日(八王子クリエイトホール)、第2グループは4月12日、10月25日(立川柴崎学習館)、第3グループは6月7日、10月11日、10年2月7日(武蔵野公会堂第2)で正会員を主とした会を行いました。全多摩ブロック共通で、第1回は小関事務局長の「透析医療制度の仕組み」を説明しました。

また、第2回はみたかの森クリニックス院長の菊池先生に「結果(データ)を見て原因を調べる」というテーマでお話いただきました。また、平成21年8月2日には国分寺しホールで多摩ブロック学習

交流会を開催し、東京医科大学八王子医療センター移植検査センター・レシピエント移植コーディネーターの窪田 基予子先生の「臓器移植の進み方」と小平北クリニックス・小澤理事長の「透析者の医療と生活」のテーマでご講演いただきました。

また、平成21年6月26日には、第2グループ管轄で青梅クリニックスジュピターグループが設立され、代表者には、若杉さんが就任されました。

9月13日には、八王子市地域腎友会が設立され、会長には西澤クリニックスの池谷さんが就任されました。八王子市の東腎協所属患者会、めじろ会、のばら会、桑の実会、高尾もみじ会、あけぼのクリニックス友の会、南大沢パオレ腎友会の各会長が役員となり、今後の活躍を楽しみに動いております。

会員拡大は5、6月集中的に、梅原、糸、山口の各理事と木下で小金井太陽病院、みたかの森クリニックス等約20施設を訪問し、開拓の糸口を探しました。今後また、再開致します。

10年2月21日の多摩ブロック理事会で全員一致で次期ブロック長に第3グループの山口理事が決定

しました。

〈2〉会員拡大施設訪問

会員拡大を目的とした施設訪問を月2、3回のペースで各理事が分担してブロックごとに活動しております。(以下抜粋です)

施設訪問報告

6/9 小作クリニックス、青梅かすみ台クリニックス、佐藤内科循環器科クリニックス、公立阿伎留医療センター (木下、糸)

18 山川クリニックス、南野セントラルクリニックス、東京医科大学八王子医療センター、八王子腎クリニックス(木下、梅原、軽部)

7/16 板橋中央総合病院、赤松クリニックス(榊原、古木)

21 河北葦クリニックス (全腎協栗原常務理事、木下、小関)

30 腎内科クリニックス世田谷 (岸里、藤田)

8/1 赤塚幸クリニックス

18 西條クリニックス下馬、駒沢腎クリニックス(吉澤)

9/5 京葉病院(石井、須賀)

7 東葛クリニックス小岩

14	瑞江ゆうあいクリニック、 総愛診療所	(石井)
24	井の頭クリニック	(木下、山口)
26	寺田病院	(木下)
	鶴田クリニック	(木下、下島正会員、古木)
27	豊島中央病院、豊生会	(木下、石山)
10/12	東葛西クリニック	(石井)
11/8	優人クリニック	(木下、小関、石山)
14	飯田橋春口クリニック	(木下)
12/1	練馬桜台クリニック	(木下、石山)
5	東海病院ひまわり会	(木下、石山)
8	赤松クリニック	(木下、石山)
10	優人クリニック	(木下、石山)
2/20	南街クリニック、小平北 口クリニック(山口、糸)	

以上、理事を中心に正会員に協力
いただきながら会員拡大運動を継
続してきました。

「既存患者会の会員維持拡大、
患者会未組織施設への訪問」を柱
として、昨年度も施設訪問に特に
力を入れてきました。また既存の
患者会についても、役員の高齢化
が進み後継者が見つからない等、
東腎協がどうサポートしていくの
かが課題となっています。

＜3＞ 青年部活動

部長代行 須賀 春美

平成21年度の青年部の活動内容
をご報告いたします。

平成21年8月29日、30日に「第
3回全腎協青年研修会議」が行わ
れ、1名が参加しました。分科会
の「社会参加」では、①臓器移植
キャンペーンの見直しと提案、②
自分たちにできる社会参加および
社会貢献、③裁判員制度への参加
の3テーマについて話し合いをし
ました。

平成21年9月26日、27日に予定
されていた、「関東ブロック青年
交流会」は、インフルエンザの影
響のため、中止となりました。

東腎協青年部では、今年度は講
演会等を予定していましたが、イ
ンフルエンザの影響のため中止と
なりました。来年度は、インフル
エンザの影響で行事が中止となる

ことのないよう日程を考慮し、行
事を行いたいと思います。

＜4＞ 地域腎友会委員会

地域腎友会委員長 戸倉 振一

8月9日(日)東京都障害者福
祉会館にて第12回地域腎友会交流
会を開催しました。参加者は68名
で、足立区、荒川区、板橋区、江
戸川区、葛飾区、江東区、墨田区、
町田市の8地域腎友会の活動報告
のほか、地域腎友会の設立方法等
の説明、質疑応答が行われました。
各地域腎友会とも災害対策、腎臓
病患者の福祉の向上を目指して活
動を充実させています。

9月20日には八王子市の6つの
患者会が加盟する八王子市地域腎
友会が発足し、緊急の課題として
透析患者の通院支援としての「福
祉タクシー券の増額」を目指し活
動を始めました。

新型インフルエンザ対策では地
域腎友会の活動の重要性を再確認
することができました。新型イン
フルエンザによる肺炎の重症化予
防のため、肺炎球菌ワクチンの接
種費用の公費助成について、直接
区長面談を行って要望するなどし
て、一部公費負担が実施される区
もありました。

また、障害者自立支援法におい
て「地域における障害福祉に関す
る関係者による連携及び支援の体
制に関する協議を行うための会議
の設置」が示されていることから、
各区市町村に「地域自立支援協議
会」が徐々に発足しつつあります
が、こういった協議会にも参画し、
腎臓病患者の福祉を向上させてい
くために、一つでも多くの区市町
村に地域腎友会が結成されるよう
情報提供をしていきます。

2. 腎臓病に関する知識 の普及と予防等を促進す る事業

広く一般市民の腎臓病に関する
医療・社会保障制度の相談業務。
主に電話での相談ですが、事務
局に来局された方もいらつしやい
ました。

相談内容については、医療・福
祉・生活と幅広く相談があり全腎
協電話相談と連携を取りながら対
応致しました。

3. 腎臓病患者の医療体 制の充実と福祉の向上を 図る事業

①「都庁予算要請懇談会」都庁各
局職員との懇談

行政委員会

行政担当委員長 木下 久吉

今年度の最大の成果は、7月13日、臓器移植法改正案（A案）が衆議院本会議で、可決成立されたことです。

何よりも10年度も各種助成制度が維持継続されることになりました。また、CKD（慢性腎臓病）予防の普及と活動へのご協力もいただきました。

次に2009年度後半に社会問題になりました、新型インフルエンザに対して、地域腎友会がある自治体は地域腎友会から、地域腎友会が無い自治体へは東腎協から都内全自治体の首長宛に「肺炎球菌ワクチン」公費助成及び「新型インフルエンザ」対策についてのお願いを申し入れました。全自治体からではないですが丁寧なご回答を頂戴致しました。

11月19日付で、東京都・石原知事様に「肺炎球菌ワクチン」接種についてのお願い文を提出致しました。

2010年度都庁予算要請

8月4日は2010年度都庁予算要請日であり、会長以下7名の理事が参加し東京都福祉保健局、

病院経営本部、産業労働局、教育庁の各担当者から、事前に要請していた項目に関して回答を得ました。

本年度の要請項目は既に機関誌No.180に掲載済みです。

②都議会ヒアリング・都議会議員との懇談

9月3日（木）都議会棟にて2010年度都議会ヒアリングを民主党、自民党、公明党、共産党、生活者ネットワークの議員団に要請に参り、木下会長以下、6名の理事が参加しました。

災害対策委員会

災害対策委員長 戸倉 振一

災害時における情報伝達の方法を日頃から確認し備えるために、「緊急時透析患者手帳」の改訂版を昨年度発行したところですが、

今年度は、ホームページの「災害時透析医療」のページを新設するにあたり、災害対策委員会での原案の作成を行いました。「災害時に対する平常時の心得」「災害時の心得」「激震に遭遇したら」「緊急時に備えて、情報網の理解を！」と題し、それぞれイラストを交え分かりやすくそのポイントを

をまとめました。また、携帯電話にQRコードを読みこむことで、「緊急時の東腎協、全腎協への連絡先」や「緊急時透析患者手帳」に掲載した透析施設の連絡先を閲覧できるようにしましたので、是非ご利用いただきたいと思います。

また、区市町村の災害情報の発信状況や他県の災害対策の取り組みを調査しました。他県では透析施設の被災状況等をメールで配信するシステムが構築されていたり、透析患者の名簿を本人の同意に基づき県腎協が作成し消防署、保健所に提出し災害発生時における透析患者の迅速な救出、透析施設への搬送についての配慮をお願いし、災害時に備えるなど先進的な取り組みをしているところもあります。これらの事例を参考にしながら、東京で災害対策をさらに進めていきたいと思っています。

4. 関連する他団体との協同事業

①「国会請願」

第39次国会請願は3月25日に国会への行動を実施しました。

署名数、全腎協は30、652（前年29、041）筆で、JP Aは29、428（前年28、36

9）筆でした。募金はJPAとあわせて2、130、148円（前年2、170、369円）でした。

当日は多数の国会議員の先生方に腎臓病患者の思いの詰まった署名用紙を東腎協理事10名で手渡しました。

②（社）全腎協、NPO東難連に協力及び協力を金を出し、不特定多数の方々に腎臓病について広く啓蒙活動を行う。

全腎協

「命と暮らしを守る」活動として、全腎協は日頃よりその目的の為、国（特に厚生労働省）への働きかけや、腎臓病予防の啓発、啓蒙活動、臓器移植の推進活動策を始めたところ、障害者や社会的弱者の救済や自立の為の社会保障制度を目指し、広範囲の活動を行っております。

③東難連（難病16団体で組織している団体）

NPO東難連理事 田中 助成

東難連は地域の障害者難病患者、家族の医療・福祉・生活に関する相談・支援を行うとともに、各加盟団体からの要望を都議会及び都関係各局に請願し、その実現に向

けての行動を行っており、その内容は年1回の会報に掲載しております。

また、平成16年、都より「東京都難病相談支援センター」事業を受託して6年目に入ったところで、毎年、疾病別の無料医療相談会を5回と医療講演会を4回、就労支援シンポジウムを1回、他に音楽療法教室、ピア相談員養成研修会を行いました。

また、相談事例集、センター便りを発行しています。今後は労働局、ハローワークとの連携を取り「難治性疾患患者雇用事業助成金」制度支援を受けながら、難病患者の就労促進に向けて努力をしていきます。

5. 福祉移送相談・推進事業

NPOを取得し、通院福祉移送を行うとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦

今年度は福祉移送についての相談、全腎協への助成金申請の推薦はありませんでした。

6. 腎臓病患者の食事療法に資する事業

①低たんぱく米の広報・斡旋、災

害時備蓄米斡旋

エコ・ライス新潟が扱う「はんぶん米」を東京都が5年間で15万食備蓄予定（年3万食）

7. その他の事業

広告掲載事業・年4回の機関誌上広告掲載

広告担当編集委員 軽部 和之

NPO東腎協の機関誌「東腎協」の誌面に理事会で承認を得た業者の広告を掲載する事業であります。

今年度ご協力頂いた広告主様は次の各社です。（順不同）

エルピス（株）、ベータ食品（株）、明治製菓（株）、（有）ゲルソン商会、テンブスタッフフロンティア（株）、（株）イーホープ、（株）ハッソー、（株）サニーコーポレーション、（株）サブリプラスファミリー

2009年4月

22 NPO法人腎臓サポート協会
総会

2009年5月

足立区地域賢友会総会出席
会員拡大施設訪問・・板橋中央

2009年6月

17 臓移連臓器移植改正法(国会第

バー会議

2009年7月

成

青年部勉強会

5 すながわ相互診療所患者会
ずみ学習会「透析医療のしく

ター発送

新型インフルエンザワクチンについて都福祉保健局疾病対策課養係長へ連絡、健康安全部感染症対策課へ面談の時間を取って貰えるよう依頼
飯田橋春口クリニック春口院長面談

中央林間緑野病院戸田房子理事長面談

都庁福祉保健局感染対策課第22回腎臓病を考える都民の集い実施要綱準備

1/31の東部ブロック学習交流会講師の新小岩クリニック船堀管理栄養士長谷川様面談三役会

第44回理事会

2009年12月

1 練馬桜台クリニック患者会訪問

8 あかまツクリニックス院長先生面談

13 第45回理事会

15 会員拡大施設訪問・東大和病院、南街クリニック

17 第22回腎臓病を考える都民の集い打ち合わせで順天堂医院

富野先生面談

会員拡大施設訪問・村上医院、

美好腎クリニック

18 各種書類整理、東京都障害者福祉会館へ定期利用申請書受け取り
28 年末大掃除

2010年1月

5 都庁、全腎協新年のあいさつ訪問

6 新年挨拶で鶴田クリニック院長訪問

7 第22回腎臓病を考える都民の集い準備

東腎協元常任幹事下島さん告別式出席

第22回腎臓病を考える都民の集い講師依頼

機関誌「東腎協」No.181

初校、機関誌「ぜんじんきょう」発送作業

8 第22回腎臓病を考える都民の集い打ち合わせで当日司会の腎臓病サポート協会理事長松村様面談

13 第22回腎臓病を考える都民の集い後援名義許可申請千代田区、(社)東京都医師会、(社)日本腎臓学会、(社)日本透析医学会、(社)日本透析医会、(財)日本腎臓財団、NPO東難、(社)全腎協、三多摩腎疾患治

療医会、認定NPO法人腎臓病早期発見推進機構、NPO法人CAPD支援機構

14 1/31北部ブロック交流会打ち合わせで三鷹の森クリニック院長面談

18 第39回国会請願署名整理

20 通院送迎の相談で全腎協金子事務局長、宮永事務局員、八木事務局員面談

21 第46回理事会

24 第46回理事会議事録作成

27 東部ブロック学習交流会

2010年2月

2 第39回国会請願全腎協栗原常務理事と紹介議員打ち合わせ

4 東京無年金障害者をなくす学会長、柳澤氏と面談

6 じんぞう研究所主催市民講座

10 平成22年度予算案作成

16 第39回国会請願紹介議員のお願い文作成

18 第39回国会請願紹介議員回り

19 バクスター(株)ナショナルキックオブミーツイング闘病体験談で参加

20 会員拡大施設訪問・南街クリニック、小平北口クリニック

21 第47回理事会

26 第39回国会請願紹介議員名簿

及び東腎協参加者全腎協へ

2010年3月

2 機関誌「東腎協」No.183特集記事の件でJTBと打合せ

4 賛助会員名簿の引継ぎ、賛助会員名簿作成

6 中南部ブロック会議

9 東久留米グループ訪問

10 CKDシンポジウム「東京フォーラムD5」

13 ホームページ編集会議アスコットと次年度編集についての話し合い

21 ブロック長会議

23 第48回理事会

25 第1回大会記念講演講師お願いで東京女子医科大学糖尿病・代謝内科新道孝道先生

26 面談資料作成

28 第39回国会請願

機関誌「東腎協」No.183特集座談会「透析患者のための海外透析」についてJTB首都圏の高橋様と打合せ

第22回腎臓病を考える都民の集い

財産目録

平成22年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	26,613,166		
現金 現金手許有高	34,185		
郵便振替(南大塚郵便局)	9,491,225		
郵便貯金(南大塚郵便局)	592		
普通預金(三菱東京UFJ銀行)	9,587,164		
定期預金(三菱東京UFJ銀行)	7,500,000		
流動資産合計		26,613,166	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	40,615		
権利金等	204,750		
保証金	585,000		
退職給与積立預金(南大塚郵便局)	1,175,000		
その他の固定資産合計	2,005,365		
固定資産合計		2,005,365	
資産合計			28,618,531
【負債の部】			
流動負債			
預り金	20,512		
給与源泉税預り金	-23,320		
報酬源泉税預り金	13,332		
住民税預り金	10,600		
その他預り金	19,900		
流動負債合計		20,512	
固定負債			
退職給与引当金	1,175,000		
固定負債合計		1,175,000	
負債合計			1,195,512
正味財産			27,423,019

貸借対照表

平成22年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	26,613,166		
流動資産合計		26,613,166	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	40,615		
権利金等	204,750		
保証金	585,000		
退職給与積立預金	1,175,000		
その他の固定資産合計	2,005,365		
固定資産合計		2,005,365	
資産合計			28,618,531
【負債の部】			
流動負債			
預り金	20,512		
流動負債合計		20,512	
固定負債			
退職給与引当金	1,175,000		
固定負債合計		1,175,000	
負債合計			1,195,512
【正味財産の部】			
正味財産			27,423,019
(うち当期正味財産増加額)			1,775,108
負債及び正味財産合計			28,618,531

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

平成 22年 3月31日現在

有形固定資産

(単位:円)

種 類	取得価格	減価償却額	減価償却累計額	当期末残高
シュレッダー リコー2211PT	103,000	1,030	100,940	2,060
液晶カラーモニター シャープ	131,040	1,310	128,418	2,622
オートコレクター UC1000	249,950	2,499	245,040	4,910
デジタル1眼レフカメラ キヤノン	110,787	19,941	79,764	31,023
合 計	594,777	24,780	554,162	40,615

無形固定資産

種 類	取得価格	償却額	償却累計額	当期末残高
権利金等	315,000	63,000	110,250	204,750
合 計	315,000	63,000	110,250	204,750

1 重要な会計方針

什器備品及び権利金等について減価償却を行う。

減価償却の方法は以下の通りとする。

什器備品については定額法、

権利金等については、5年間の月割均等償却

資金の範囲には、現金・預金(退職積立預金を除く)のほか未収金・仮払金・未払金・預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記の表のとおりである。

前期、当期の次期繰越収支差額の内容は、下記の表のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	22,440,970	26,613,166
仮 払 金	0	0
未 収 金	2,540,916	0
合 計	24,981,886	26,613,166
未 払 金	241,400	0
預 り 金	10,720	20,512
次期繰越収支差額	24,729,766	26,592,654

2009年度(平成21年度)決算 特定非営利活動に係る収支報告書

2009年3月1日～2010年3月31日 (単位:円)

大科目	小科目	21年度予算	決算	%	備考
1.会費収入	会費収入	28,870,000	28,158,650	97.5%	
	賛助会費収入	28,620,000	27,763,650	97.0%	
		250,000	395,000	158.0%	
2.事業収入	提携手数料収入	680,000	685,552	100.8%	エコ・ライズ注文手数料
	都民の集い事業収入	30,000	35,552	118.5%	
		650,000	650,000	100.0%	協賛金収入
3.寄付金収入	寄付金収入	2,000,000	3,013,478	150.7%	
	募金収入	500,000	890,330	178.1%	扶桑薬品様、エルピス様、ベータ食品様他
		1,500,000	2,123,148	141.5%	国会請願募金
4.その他の収入	受取利息収入	150,000	205,412	136.9%	
	資料印刷代収入	10,000	18,897	189.0%	普通・定期預金利子
	資材販売収入	80,000	72,615	90.8%	患者会等資料印刷代
	物品	60,000	113,900	189.8%	全腎協還元金他
経常収入合計		31,700,000	32,063,092	101.1%	
5.その他の事業 繰入金収入	繰入金収入	1,720,000	2,412,317	140.3%	広告費1,412,317 機関誌広告代一広告ページ印刷費
		1,720,000	2,412,317	140.3%	その他会計より戻し1,000,000
その他資金収入合計		1,720,000	2,412,317	140.3%	
当期収入合計		33,420,000	34,475,409	103.2%	

支出の部 1 2009年度(平成21年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支報告書

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
1. 事業費 (1) 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	移植キャンペーン事業 都民の集い事業 機関誌発行事業 ホームページ管理事業 知識の普及事業	8,800,000 300,000 520,000 5,386,000 922,000	8,067,745 439,285 371,786 4,885,797 877,616	91.7% 146.4% 71.5% 90.7% 95.2%	会報発行費、発送費、事務局員給与1名分含 パソコン周辺保守料金、HP管理諸費用、 各委員会活動、ブロッグ活動、青年部、会長活動通信費他
(2) 腎臓病患者の自立を支援するための相談	自立支援事業	2,160,000	1,669,810	77.3%	事務局員給与1名分含
(3) 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	都庁予算要請事業 都議会ヒアリング事業	60,000 40,000 20,000	41,460 24,740 16,720	69.1% 61.9% 83.6%	
(4) 関連する他団体との協同事業	国会請願事業 全腎協他に協力する事業	10,100,000 400,000 9,700,000	9,673,300 314,130 9,359,170	95.8% 78.5% 96.5%	全腎協会費5,100人
(5) 福祉移送相談・推進事業	福祉移送事業	0	0	0.0%	
(6) 腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報事業 小学校食育指導事業	15,000 10,000 5,000	0 0 0	0.0% 0.0% 0.0%	
(7) 腎臓病患者の災害対策事業	災害対策訓練事業	40,000	10,000	25.0%	資料作成
事業費合計		21,175,000	19,462,315	91.9%	

支出の部2 2009年度(平成21年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支報告書

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
2. 管理費	給料 法保 事什 光消 通印 總會 交租 務務 事務 事務 慶用 弔交	4,770,000 635,000 65,000 1,902,600 454,000 300,000 100,000 1,140,000 440,000 1,100,000 210,000 344,000 5,000 310,000 80,000 31,500	4,770,000 685,151 61,837 1,902,600 662,507 163,288 76,273 1,172,145 314,311 1,031,024 201,460 403,660 4,000 259,172 192,778 0	100.0% 107.9% 95.1% 100.0% 145.9% 54.4% 76.3% 102.8% 71.4% 93.7% 95.9% 117.3% 80.0% 83.6% 241.0% 0.0%	事務局員給与 社会保険料、労働保険料 団体傷害保険 パソコン・印刷機・コピー機リース代、 電気水道費 事務局お茶代、ゴミ券、ワット交換代他 事務機器リース代、電話代、メール便代、切手代、振込料他 コピー機使用料、印刷用紙代 会場費、議案集費他 理事会、三役会他 通勤交通費 事務局手伝い他 封筒、インク、名刺用紙他
管理費合計		11,887,100	11,900,206	100.1%	
3. 退職給与積立預金繰入額	退職預金積立金支出	250,000 250,000	250,000 250,000		21年度分積立
4. その他の事業へ繰出し			1,000,000		広告用口座に入金
その他の資金支出合計		250,000	1,250,000		
支出合計		33,312,100	32,612,521	97.9%	
収支差額		107,900	1,862,888		
前期繰越収支差額		23,679,779	24,729,766		
次期繰越収支差額		23,787,679	26,592,654	111.8%	

正味財産増減計算書

平成 21年4月1日から平成 22年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	1,862,888		
退職給与積立預金増加額	250,000	2,112,888	
負債減少額			
増加額合計			2,112,888
【減少の部】			
資産減少額			
什器備品減価償却額	24,780		
権利金償却額	63,000	87,780	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	250,000	250,000	
減少額合計			337,780
当期正味財産増加額			1,775,108
前期繰越正味財産額			25,647,911
期末正味財産合計額			27,423,019

21年度 その他の事業会計 貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【正味財産の部】			
正味財産			0
（うち当期正味財産増加額）			0
負債及び正味財産合計			0

21年度 その他の事業会計 収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備考
【経常収入の部】			
広告料収入	2,171,000	1,896,880	名刺広告、折り込み広告
その他の収入	1,000	502	
受取利息	1,000	502	その他の事業口座利息
経常収入合計	2,172,000	1,897,382	
【経常支出の部】			
事業費	450,000	483,385	
機関誌「東腎協」の発行	450,000	483,385	広告ページ印刷費
管理費	2,000	1,680	
通信運搬費	2,000	1,680	振込料
経常支出合計	452,000	485,065	
経常収支差額	1,720,000	1,412,317	
【その他資金収入の部】			
一般会計より繰入金収入	1,000,000	1,000,000	その他事業口座資金
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	
その他資金収入合計	1,000,000	1,000,000	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	2,720,000	2,412,317	
繰入金支出	2,720,000	2,412,317	
その他資金支出合計	2,720,000	2,412,317	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

正味財産増減計算書総括表

平成 21年4月1日から平成 22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	その他の事業会計
【増加の部】			
資産増加額	2,112,888	2,112,888	0
負債減少額	0	0	0
増加額合計	2,112,888	2,112,888	0
【減少の部】			
資産減少額	87,780	87,780	0
負債増加額	250,000	250,000	0
減少額合計	337,780	337,780	0
当期正味財産増加額	1,775,108	1,775,108	0
前期繰越正味財産額	25,647,911	25,647,911	0
期末正味財産合計額	27,423,019	27,423,019	0

収 支 計 算 書 総 括 表

平成 21年4月1日から平成 22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	その他の事業会計
【経常収入の部】			
会費収入	28,158,650	28,158,650	0
事業収入	2,582,432	685,552	1,896,880
寄付金収入	3,013,478	3,013,478	0
その他の収入	205,914	205,412	502
経常収入合計	33,960,474	32,063,092	1,897,382
【経常支出の部】			
事業費	19,945,700	19,462,315	483,385
管理費	11,901,886	11,900,206	1,680
経常支出合計	31,847,586	31,362,521	485,065
経常収支差額	2,112,888	700,571	1,412,317
【その他資金収入の部】			
一般会計より繰入金収入	1,000,000	0	1,000,000
その他の事業会計より繰入金	2,412,317	2,412,317	0
その他資金収入合計	3,412,317	2,412,317	1,000,000
【その他資金支出の部】			
退職給与積立預金繰入額	250,000	250,000	0
その他の事業へ繰出金	1,000,000	1,000,000	0
一般会計へ繰出し金	2,412,317	0	2,412,317
その他資金支出合計	3,662,317	1,250,000	2,412,317
当期収支差額	1,862,888	1,862,888	0
前期繰越収支差額	24,729,766	24,729,766	0
次期繰越収支差額	26,592,654	26,592,654	0

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
会長 木 下 久 吉 様

私達は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日)の事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表、収支計算書及び正味財産増減計算書)について監査を行いました。

監査の方法は、理事会等の議事録その他の重要書類の閲覧をするほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、帳簿及び証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2009年度の活動方針、事業計画に基づき適正に処理され、2009年度の特定非営利活動法人東京腎臓病協議会の財産の状況は適正なものと認められます。

平成22年4月23日

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

監事 森 義昭



監事 篠原 栄一



22年度事業計画書

22年 4月 1日から 23年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

1 事業実施の方針

広く一般市民に対し、腎臓病に関する正しい知識普及と予防を図るための事業、及び腎臓病患者の医療体制の充実と福祉向上を図るための政策提言等の事業を行ない、もって市民の健康ならびに福祉向上に寄与することを目的とする。

2 事業の実施に関する事項

(1)

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	「臓器移植キャンペーン」臓器提供意思表示カード配布	10月	中央区銀座 台東区上野	100人	一般市民 10,000人	450
	「腎臓病を考える都民の集い」を開催し広く一般市民に腎臓病の早期発見早期治療を啓蒙する	3月	都 内	20人	一般市民 200人	520
	機関誌面「東腎協」の発行	年4回	事務局	5人	一般市民 6,000人	5,384
	ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病の意識啓発を図る	通 年	事務局	5人	一般市民 不特定多数	1,532
	広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する	年10回	都 内	10人	一般市民 300人	1,476
腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務	通 年	事務局	10人	一般市民 不特定多数	1,582
腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	「都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談会	7月	都庁会議室	10人	一般市民 不特定多数	30
	「都議会ヒアリング」都議会議員との懇談	9月	都議会議員会館会議室	10人	一般市民 不特定多数	20
関連する他団体との協同事業	「国会請願」全腎協と腎疾患対策の早期確立をめざす	3月	衆議院・参議院議員会館	10人	一般市民 不特定多数	200

関連する他団体との協同事業	全腎協、東難連に協力及び協力金を出し、不特定多数の一般市民に腎臓病について広く啓蒙活動を行う	随 時	都 内	5 人	一般市民 不特定多数	9,505
福祉移送相談・推進事業	NPOを取得し、通院移送を行なおうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦	随 時	事務局	1 人	通院移送を行うNPO 法人	50
腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報・斡旋、災害時備蓄米斡旋	随 時	事務局	3 人	一般市民 不特定多数	10
	NPO米にケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行う	年 2 回	都 内	3 人	都内小学校 生徒及び 教員	5
腎臓病患者の災害対策事業	東京都を中心とした東京都区部災害時透析ネットワーク他多方面の自治体と協力をして災害対策訓練実施に参加する	随 時	都 内	10人	一般市民 不特定多数	20

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人 数	支出見 込み額 (千円)
広告掲載事業	機関誌広告掲載	年 4 回	事務局	1 人	485

2010年度(平成22年度)予算 特定非営利活動に係る事業会計予算(案)

2010年4月1日～2011年3月31日 (単位:円)

大科目	中科目	21年度予算	21年度決算	22年度予算	備考
1.会費収入	会費収入 賛助会費収入	28,870,000 28,620,000	28,158,650 27,763,650	28,040,000 27,540,000	5,100人 10,000×50件
2.事業収入	提携手数料収入 都民の集い事業収入	680,000 30,000	685,552 35,552	780,000 30,000	エコ・ライズ注文手数料 協賛団体、各社
3.寄付金収入	寄付金収入 募金収入	2,000,000 500,000	3,013,478 890,330	2,600,000 600,000	扶桑薬品様、エルビス様、ベータ様他
4.その他の収入	受取利息収入 資料印刷代収入 物品販売収入	1,500,000 150,000 10,000 80,000 60,000	2,123,148 205,412 18,897 72,615 113,900	2,000,000 125,000 10,000 70,000 45,000	患者会等資料印刷代 全腎協還元金
経常収入合計		31,700,000	32,063,092	31,545,000	
5.その他の事業 繰入金収入	繰入金収入	1,720,000	1,412,317	1,400,000	機関誌広告代一広告ページ印刷費 通常広告、折込広告
その他資金収入合計		1,720,000	1,412,317	1,400,000	
当期収入合計		33,420,000	33,475,409	32,945,000	

支出の部 1

大科目	中科目	21年度予算	21年度決算	22年度予算	備考
1. 事業費 (1) 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	移植キャンペーン事業 都民の集い事業 機関誌発行事業 ホームページ管理事業 知識の普及事業	8,800,000 300,000 520,000 5,386,000 922,000 1,672,000	8,067,745 439,285 371,786 4,885,797 877,616 1,493,261	9,362,000 450,000 520,000 5,384,000 1,532,000 1,476,000	機関誌発行費、発送費、事務局員給与1名分含 パソコン周辺保守料金、HP管理諸費用、1名人件費 各委員会活動、ブロッグ活動、青年部、会長活動費他
(2) 腎臓病患者の自立を支援するための相談	自立支援事業	2,160,000 2,160,000	1,669,810 1,669,810	1,582,000 1,582,000	事務局員給与1名分含
(3) 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業		60,000	41,460	50,000	
(4) 関連する他団体との協同事業	都庁予算要請事業 都議会ヒアリング事業	40,000 20,000	24,740 16,720	30,000 20,000	都庁関係費 都議会関係費
(5) 福祉移送相談・推進事業	国会請願事業 全腎協他に協力する事業	10,100,000 400,000 9,700,000	9,673,300 314,130 9,359,170	9,705,000 200,000 9,505,000	全腎協納付金 全腎協会費、東離連会費、その他団体関連費
(6) 腎臓病患者の食事療法に資する事業	福祉移送事業	0 15,000	0 0	50,000 15,000	アンケート実施
(7) 腎臓病患者の災害対策事業	低たんぱく米の広報事業 小学校食育指導事業	10,000 5,000	0 0	10,000 5,000	エコライズ様打合せ 小学校田植え、稲刈り出席
事業費合計	災害対策訓練事業	40,000	10,000	20,000	講演会出席、資料作成
		21,175,000	19,462,315	20,784,000	

支出の部2

大科目	中科目	21年度予算	21年度決算	22年度予算	備考
2. 管理費	給料 法定福利手当 保険料 事務用品 什器備品 光熱水 消耗品 通信運搬 印刷会費 印総会議費 通交費 租務税 事務所用消耗品 事務用品 慶	4,770,000 635,000 65,000 1,902,600 454,000 300,000 100,000 1,140,000 440,000 1,100,000 210,000 344,000 5,000 310,000 80,000 31,500	4,770,000 685,151 61,837 1,902,600 662,507 163,288 76,273 1,172,145 314,311 1,031,024 201,460 403,660 4,000 259,172 192,778 0	4,770,000 740,000 60,000 1,902,600 626,000 200,000 100,000 1,127,000 350,000 1,000,000 210,000 331,000 5,000 230,000 200,000 31,500	2名分 事務局員労働保険、社会保険事業主負担分 団体傷害保険料 1ヶ月158,550 パソコン・印刷機・コピー機リース代 電気水道費 事務局お茶代、ゴミ券、ネット交換代他 電話器リース代、メール便代、切手代、振込料他 コピー機使用料、印刷用紙代 会場費、議案集費他 理事会、三役会他 通勤交通費 法務局手続き 臨時アルバイト代、図書費他 名刺、封筒、事務用品 印電等
管理費合計		11,887,100	11,900,206	11,883,100	
3. 退職給与積立預金繰入額	退職預金積立金支出	250,000	250,000	250,000	22年度分積立
その他資金支出合計		250,000	250,000	250,000	
支出合計		33,312,100	31,612,521	32,917,100	
収支差額		107,900	1,862,888	27,900	
前期繰越収支差額		23,679,779	24,729,766	26,592,654	
次期繰越収支差額		23,787,679	26,592,654	26,620,554	

2010年度(平成22年度) その他の事業会計 予算(案)

2010年4月1日～2011年3月31日

(単位:円)

科 目	21年度決算額	22年度予算額	備考
【経常収入の部】			
広 告 料 収 入	1,896,880	1,851,500	一般・名刺広告、折込広告
そ の 他 の 収 入	502	500	
受取利息	502	500	その他の事業口座利息
経常収入合計	1,897,382	1,852,000	
【経常支出の部】			
事 業 費	483,385	450,000	
機関誌「東腎協」の発行	483,385	450,000	広告ページ印刷費
管 理 費	1,680	2,000	
通信運搬費	1,680	2,000	振込料
経常支出合計	485,065	452,000	
経常収支差額	1,412,317	1,400,000	一般会計へ繰入
【その他資金収入の部】			
一般会計より繰入金収入	1,000,000	1,000,000	その他事業口座資金
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	
その他資金収入合計	1,000,000	1,000,000	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	2,412,317	2,400,000	
繰入金支出	2,412,317	2,400,000	
その他資金支出合計	2,412,317	2,400,000	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

2010年度NPO東腎協執行部（案）

No.	役職名	氏 名	ふりがな	患 者 会 名
1	会 長	木下 久吉	きのした ひさよし	笹塚愛生クリニック患者友の会
2	副会長	戸倉 振一	とくら しんいち	森山友の会（全腎協社員代表）
3	副会長	小野 誠	おの まこと	吉祥寺あさひ腎友会
4	副会長	須賀 春美	すが はるみ	虎の門・友の会(本院)
5	事務局長	小関 盛通	こせき もりみち	柳原健腎会
6	会 計	軽部 和之	かるべ かずゆき	立川相互病院透析室希望会
7	理 事	石田 健郎	いしだ けんろう	織本病院腎友会
8	理 事	石山久美子	いしやま くみこ	ダイヤモンド会
9	理 事	糸 修	いと おさむ	すながわ相互診療所患者会いずみ
10	理 事	梅原 秀孝	うめはら ひでたか	府中けやき会
11	理 事	押山 大作	おしやま だいさく	にこたま会
12	理 事	金井 信憲	かない のぶのり	新江東橋クリニック腎友会
13	理 事	岸里 悟	きしさと さとる	森山友の会
14	理 事	木村 妙子	きむら たえこ	上野しのばず会
15	理 事	久保 正業	くぼ まさなり	松和患者会新宿南口支部
16	理 事	斎藤 稔	さいとう みのる	あけぼの友の会
17	理 事	榊原 靖夫	さかきばら やすお	高中腎友会
18	理 事	新見 範彦	しんみ のりひこ	新小岩クリニック友の会(船堀)
19	理 事	田中 助成	たなか すけなり	聖路加ニーレ会
20	理 事	中村 博	なかむら ひろし	新葛飾病院・ロイヤルクリニック友の会
21	理 事	藤田 吉彦	ふじた よしひこ	小池会
22	理 事	古木 直之	ふるき なおゆき	鶴田クリニック友の会
23	理 事	吉澤 正雄	よしざわ まさお	新橋青木クリニック腎友会
24	理 事	吉田 芳子	よしだ よしこ	南大沢パオレ腎友会
25	理 事	山口 登	やまぐち のぼる	吉祥寺あさひ腎友会
26	監 事	篠原 栄一	しのはら えいいち	中野クリニック腎友会
27	監 事	森 義昭	もり よしあき	虎の門・友の会(本院)
28	相談役	一ノ清 明	いちのせ あきら	虎の門・高津会(分院)
29	相談役	糸賀 久夫	いとが ひさお	松和患者会新宿南口支部
30	オブザーバー	高橋 真次	たかはし しんじ	江戸川橋鈴木クリニックグループ

退任理事

No.	役職名	氏 名	ふりがな	患者会名
1	理 事	石井 虎二	いしい とらじ	瑞江腎友会
2	理 事	小泉 剛	こいずみ つよし	新橋青木クリニック腎友会

